



Hiro Tokutomi
Jiv.

Tissue (歯肉色陶材)

より高い再現性、
使いやすさを求めて…

Tissueシリーズの色調について

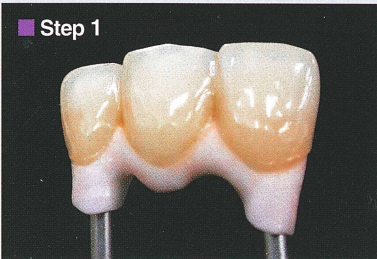
歯肉色の見直しを図り、色調を追加しました。増加するインプラント症例にもご活用ください。

- | | |
|---|--|
| <p>Tissue 1
一般的な歯肉色を表現します。</p> <p>Tissue 2
淡い歯肉色を表現します。</p> <p>Tissue 3
暗い歯肉色を表現します。</p> <p>Tissue 4
1、2、3に混合して明度を高めます。</p> | <p>Tissue 5
強く赤味を表現したい部分の内部に使用する不透明な陶材です。</p> <p>Tissue 6
鮮やかなピンク色を表現したい部分に使用します。</p> <p>Tissue 7
強く赤味を表現したい部分に使用します。</p> |
|---|--|

築盛例

— 歯冠：セラビアンZR、歯肉：セラビアンZRプレスLF —

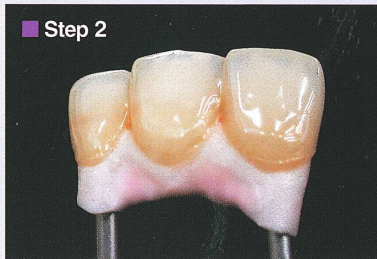
Step 1



陶材とフレームとの焼付けを高めるために薄く一層Tissue 4*を塗布、焼成し、ウォッシュベイクを行いません。

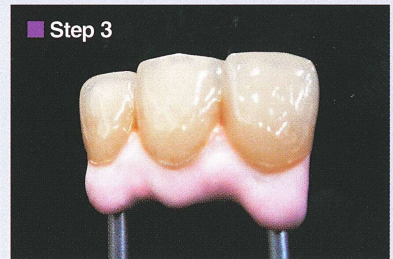
※下地となるTissue色を選択します

Step 2



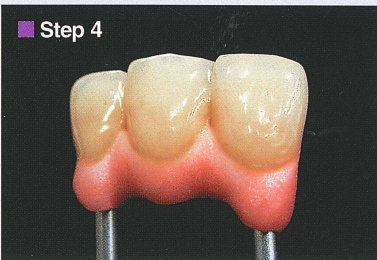
フレームのポンティック基底面の空隙の透過度を調整するため、Tissue 4(明度の高い不透明なピンク色陶材)を築盛します。

Step 3



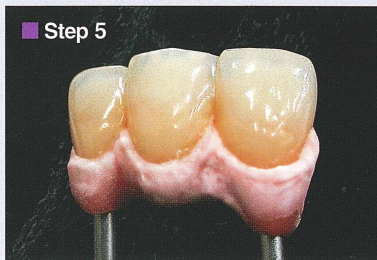
フレームのマージン付近にTissue 7(赤味の強い陶材)を築盛します。

Step 4



焼成後。

Step 5



Tissue 6(明るいピンク色陶材)でサービカル付近の明るい歯肉色を表現します。

Step 6



完成。明るさ、オーバーシティ、赤味をコントロールすることで自然感のある歯肉色を再現します。

補足

スーパーポーセレンAAAをご使用の場合、まずペーストオベーク(またはパウダーオベーク)で金属色を遮蔽してください。色調調整にはインターナルステインの他、メタルフレームの場合はスーパーポーセレンAAA ペーストオベーク(パウダーオベーク) モディファイヤー、ジルコニアフレームの場合はセラビアンZRプレス シェードベースステインモディファイヤーの使用も可能です。